

東京文化会館
舞台芸術創造事業

歌劇

400歳の

カストラート

The 400~year~old
Castrato

企画原案／選曲／カウンターテナー
Original Conception, Music Selection, and Countertenor Performance

藤木大地 FUJIKI Daichi

脚本／演出／美術
Script, Direction, and Set Design

たいら じょう
平常 TAIRA Jo

音楽監督／作曲／編曲／ピアノ
Music Direction, Composition, Arrangement,
and Piano Performance

加藤昌則 KATO Masanori

朗読 Reading

大和田 獏 OWADA Baku

大和田美帆 OWADA Miho

ヴァイオリン Violin

成田達輝 NARITA Tatsuki

周防亮介 SUHO Ryosuke

ヴィオラ Viola

東条 慧 TOJO Kei

チェロ Cello

上村文乃 KAMIMURA Ayano

曲、目

ヴィヴァルディ：歌劇『ジュスティーン』より「よろこびと共に会わん」

VIVALDI: "Vedrò con mio diletto" from *Il Giustino*

ヘンデル：歌劇『オルランド』より「私に怪物や魔物と戦わせてくれ」

HANDEL: "Fammi combattere" from *Orlando*

モーツァルト：モテット「アヴェ・ヴェルム・コルプス」K618

MOZART: Motet "Ave verum corpus," K618

ヨハン・シュトラウス2世：喜歌劇「こうもり」より「お客を呼ぶのが好き」

J. STRAUSS II: "Ich lade gern mir Gäste ein" from *Die Fledermaus*

ラフマニノフ：14の歌 Op.34より 第14曲「ヴォカリーズ」

RACHMANINOFF: 14 Songs, Op.34 - No.14 "Vocalise"

加藤昌則：絶えることなくうたう歌

KATO Masanori: Taeru Kotonaku Utau Uta - An Eternally Song

他、様々な作曲家の作品から選曲

※都合により、曲目等、変更の可能性がございますので予めご了承ください。

限りある人の命。
もし永遠の命があれば、人はどんな人生を歩むのだろうか？
カストラートとして400年の年月を生きた男の物語、
待望の再演！

Photo:
KAJIYAMA Katsumi
Hair & Makeup:
杉山裕則 (atelier pink)
岩下倫之 (Leinwand)

(令和4年) 6月26日(日) 15:00開演(14:15開場)
2022年

東京文化会館 小ホール S席6,600円 A席4,400円 B席2,200円 ※各種割引あり

チケット発売日 4月9日(土) 東京文化会館メンバーズWEB先行発売 4月2日(土)~7日(木)

Sun, June 26, 2022 15:00 (Open 14:15)
Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall
Ticket Prices: S 6,600yen A 4,400yen B 2,200yen

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 後援：TOKYO FM 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

東京文化会館オフィシャル・プラチナパートナー： 五目 精 養 軒 長谷工グループ 東京文化会館オフィシャル・ゴールドパートナー： 朝日信用金庫 株式会社ブルボン

東京文化会館
Tokyo Bunka Kaikan

歌劇『400歳のカストラート』

～バロックから現代までクラシック音楽史400年の名曲で綴るオリジナル歌劇～
 国際的な活躍が目覚ましいカウンターテナー、藤木大地主演。
 今はもう存在しない「カストラート」という特異な存在を通し、現代にも共通する人間の葛藤や悩みを描いたドラマ性溢れる物語を、多彩な才能を発揮する平常が演出。
 2020年の東京文化会館公演(初演)と宮崎公演で大好評を博し、満を持して東京での再演が決定!
 朗読は初演で鮮烈な印象を残した大和田獏、大和田美帆が再び担い、
 加藤昌則とフレッシュな若手メンバーによるピアノ五重奏が、新たな感動を彩ります。



2020年の公演より ©堀田力丸

FUJIKI DAICHI



藤木大地

企画原案 / 選曲 /
カウンターテナー

2017年、ウィーン国立歌劇場にライマン『メディア』ヘロルド役で鮮烈にデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。新国立劇場2020/21シーズン開幕公演では、プリテン『夏の夜の夢』にオーペロン役で主演、続けてパッハ・コレギウム・ジャパンとのヘンデル『リナルド』でもタイトルロールを務め、その圧倒的な存在感と唯一無二の美声で聴衆を魅了し、オペラ歌手としての人気を不動のものにする。2021年には3枚目のアルバム『いのちのうた』がリリースされた。バロックからコンテンポラリーまで幅広いレパートリーで活動を展開し、デビューから現在まで絶えず話題の中心に存在する、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとり。洗足学園音楽大学客員教授。横浜みなとみらいホール プロデューサー2021-2023。
 オフィシャルサイト daichifujiki.com

TAIRA JO

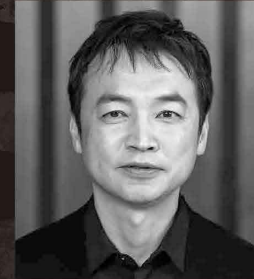


たいら じょう
平常

脚本 / 演出 / 美術

人形劇俳優・演出家。ひとり芝居と人形劇を融合させた独自の表現方法を確立。脚本・演出・音楽・美術も手掛ける。『毛皮のマリー』(寺山修司原作)で日本人人形劇大賞銀賞を最年少で受賞。オリジナル作品が厚生労働省より表彰されるなど受賞多数。2011年には外務省の主催により、日本人アーティストとして初めてパレスチナを巡回公演。現地の観客を熱狂させた。新国立劇場中劇場での『オズの魔法使い』など、多彩なレパートリーを全国各地で上演中。東京文化会館舞台芸術創造事業では、音楽家との共演による『女王メディアの物語』(2014)、『Hamlet』(2016)、『SALOME』(2019)にて、脚本・演出・美術を手掛け高い評価を得る。NHK『おはよう日本』、WOWOW『ノンフィクションW』などのメディアでも度々特集が組まれるなど、各界からの注目を集めている。
 オフィシャルサイト taira-jo.com

KATO MASANORI



加藤昌則

音楽監督 / 作曲 /
編曲 / ピアノ

東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学院修了。作品はオペラ、管弦楽、声楽、合唱など幅広く、福田進一、宮本益光、藤木大地、福川伸陽、奥村愛など多くのソリストに楽曲を提供している。また、共演ピアニストとしても評価が高い。さらに、NHK2020応援ソング『パブリカ』の合唱版をはじめ創意あふれる編曲にも定評がある。また、王子ホール「銀座ぶらっとコンサート Cafe シリーズ」(企画・ピアノ)、東京・春・音楽祭「ベンジャミン・ブリテンの世界」(企画・構成)など、独自の視点、切り口で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めている。2016年よりNHK-FM「鍵盤のつぼさ」番組パーソナリティー。2019年より長野市芸術館レジデント・プロデューサー。2022年4月、むらしん平塚文化芸術ホール 音楽アンバサダーに就任。
 オフィシャルサイト masanori-music.com

OWADA BAKU



大和田 獏

朗読

福井県出身。1973年放送のドラマ『こまい女』への出演でデビュー。その際、同ドラマの脚本家・花登隆から、「夢を食べて夢のある大きな役者になれるように」という意味で「獏」という芸名を与えられた。1998年には情報番組『ワイド!スクランブル』の司会となり11年間レギュラー出演。情報番組の司会を終えてからは精力的に映像や舞台の仕事に出演している。主な出演作品は、舞台『ゲゲゲの女房』(東恵司脚本・演出)、『救済く頃に』(ふたたくちつよし作・演出)、『Sing a Song』(日澤雄介演出)、『モンテンパ』(シライケイタ作・演出)、ドラマ『大家族』『渡る世間は鬼ばかり』『その女、ジルバ』などがある。

OWADA MIHO



大和田美帆

朗読

東京都出身。2003年、ミュージカル『PURE LOVE』で女優デビュー。以降ドラマ、舞台、バラエティーなど幅広いジャンルで活躍中。主な出演作品に、舞台『ファンタスティックス』『音楽劇ガラスの仮面』『アマテウス』『恋と音楽』『ベテン師と詐欺師』、TVドラマ『相棒 season17』(ゲスト主演)など。現在、『チョイス@病気になったとき』(NHK Eテレ)にMC出演中。個性的な文章がアメーバブログで人気となり、2017年にはエッセイ集『ワガコ』(新潮社)を発売。マルチに活動する女優である。
 オフィシャルサイト miho-owada.com

NARITA TATSUKI



成田達輝

ヴァイオリン

TOJO KEI



東条 慧

ヴィオラ

SUHO RYOSUKE



周防亮介

ヴァイオリン

KAMIMURA AYANO



上村文乃

チェロ

衣裳：増田恵美(モマ ワークショップ) 照明：稲葉直人(アート・ステージライティング・グループ) 音響：青木 央(フィガロサウンドワークス)
 舞台監督：浅沼宣夫(ザ・スタッフ) 演出助手：伊奈山明子

【会場】 東京文化会館 小ホール (JR上野駅公園口前)

【料金】 S席 6,600円 / A席 4,400円 / B席 2,200円
 <25歳以下> S席 3,300円 / A席 2,200円 <65歳以上(50枚限定)> S席 5,940円
 <ハンディキャップ(介添え1名まで同一料金)> S席 5,500円
 ※団体割引(S席/10名以上)あり。詳細は東京文化会館チケットサービスまでお問合せください。

【チケットのお申込み】 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 t-bunka.jp

<チケットぴあ> t.pia.jp <イープラス> eplus.jp/t-bunka/

※B席及び各種割引チケットは東京文化会館チケットサービスのみ取扱。各種割引は要証明書。
 ※東京都のガイドライン等に基づき販売いたします。収容定員制限と販売状況に応じ、今後販売を停止する場合がございます。予めご了承の上ご購入ください。※最前列はD列です。※発売日には全席を販売します。※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービス(要予約・有料・定員あり・6/17(金)17時締切)があります。イベント託児・マザーズ：0120-788-222

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や検温など、ご理解とご協力をお願いしております。「東京文化会館へご来場される皆さまへのお知らせとお願い」をお読みの上、ご来場くださいますようお願いいたします。 t-bunka.jp/info/5673/

【企画制作・お問合せ】 東京文化会館 事業係 03-3828-2111(代表) t-bunka.jp @tbunka_official



公演詳細はこちら
 For more information



- JR上野駅公園口より徒歩1分
- 東京外口銀座線・日比谷線上野駅より徒歩5分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩7分